

船員部会公益委員による学生インタビュー（概要）

日 時：令和元年6月13日（木）14時30分～16時00分

場 所：（独）海技教育機構 国立清水海上技術短期大学校

参加者：船員部会 野川部会長、石崎委員、西村委員、堀木委員

船員政策課 三輪田課長、細田雇対室長、瀬田労対室長、長岡推進官

他 関係者

＜学生インタビューの様子＞



＜船員の働き方に関する主な意見＞

- ✓ OBから「死ぬ」「帰れ」とかの会話が日常茶飯事で、工具を投げつけられたりすることもあると聞いた。普通の一般企業では考えられない。
- ✓ 会社説明では、育休は絶対に無い、有給は偉くないと取得できないと言われた。
- ✓ セミナーではどの会社も良いことしか言わない。OBに聞いたら実態は異なるとも聞く。会社の雰囲気や雇用船員の生の声が学生に届きにくいと感じる。
- ✓ 学生の中では労働組合に入っているかを重要視している。
- ✓ インターネット上に船員に関する情報が少ないので、情報が取得できない。会社もホームページも無いところが多く会社概要も求人票に頼るしか無い。
- ✓ 女性の求人が少ない。女性という理由で会社の説明すらしてくれない会社がある。
- ✓ 仕事と生活はどちらかを選ぶことになると考えており、今は結婚・出産のことは考えていない。
- ✓ 業界には労働関係のルールをきちんと守らせて欲しいと思う。
- ✓ 労働関係の相談窓口も必要。

以上